

精神科研修方略・評価

【研修目標】

一般目標 GIO :

安心と信頼の医療を提供し、患者の人権を尊重し社会のニーズに答えられる医師になるために、精神医療に必要な態度・技能・知識を習得するとともに、標準的な精神科症例を的確に診断し、迅速かつ適切に対応できる臨床能力の研鑽を積む。

行動目標 SBOS :

1. 標準的診断基準 (DSM-IV) に則った精神医学的診断法を習得する。
2. 標準的な疾患 (統合失調症、双極性障害、大うつ病) において、Evidence-based な標準的薬物療法を習得する。
3. 患者とより良い関係を築くための支持的精神療法が施行できる。
4. 総合病院精神科におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学のスキルとして、身体合併症を有する患者の精神科対応ができる。
5. 他科との連携能力を身につけ、精神医学的診断・治療・ケアについての適切な意見を述べるができる。
6. 精神保健福祉法に基づく入院形態 (任意入院、医療保護入院、措置入院) および行動制限 (隔離、身体拘束) について、法令を理解し法令を遵守した対応ができる。
7. 精神科救急対応として、精神運動性興奮状態や自殺の危険性が高い患者への対応能力を修得する。
8. 患者および患者家族のニーズを身体心理・社会的側面から把握し、相手の気持ちを理解しつつ分かりやすく説明できる。

【研修方略 (LS)】

研修期間 : 2年次4週間

1. 2週間を稲沢厚生病院精神神経科にて研修を行う。
2. 10日間を当院精神科にて研修を行う。
3. 研修期間中のうち2日間は、七宝病院にて研修を行う。
4. 研修期間中のうち2日間は、名古屋市立大学病院こころの医療センターで研修を行う。
コンサルテーション・リエゾン精神医学に力をいれている病院であり、積極的に選択していただくことをお勧めする。

研修内容 :

1. 入院患者を**担当医**として1~2例担当する。
2. 外来初診患者の予診を行い、指導医の初診に陪席する。

3. 精神科救急対応について、指導医と共に診察する。
4. 精神保健福祉法に基づく、任意入院、医療保護入院、行動制限についての書類作成を見学する。
5. 代表的な心理検査について、実際に体験し、臨床心理士指導のもと解釈について学ぶ。
6. デイケアにスタッフとして参加し、維持期患者の診察時以外の様子を見ることで、患者の心理・社会的背景について確認し配慮できるようになる。
7. 作業療法に参加、見学し、精神科リハビリについて学ぶ。
8. 訪問看護に同行し、慢性期精神科患者の自宅生活状況を見学し、適切な指導方法について学ぶ。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来	外来	外来
午後	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
	心理検査	心理検査	作業療法	デイケア	デイケア

作成必須レポート：

1. 興奮・せん妄
2. 気分障害（稲沢厚生病院にて作成）
3. 統合失調症（稲沢厚生病院にて作成）
4. 抑うつ（稲沢厚生病院にて作成）
5. 認知症（七宝病院にて作成）
6. 依存症

【研修評価】

項目	評価者	時期	評価方法
担当入院患者について	自己、指導医	研修終了時	自己記録
			レポート
予診をとった初診患者について	自己、指導医	その都度	ディスカッション
心理検査の体験習得	自己、臨床心理士	その都度	自己記録 ディスカッション
デイケアの体験	自己、デイケア看護師	研修終了時	自己記録
精神科作業療法の体験	自己、作業療法士	研修終了時	自己記録
訪問看護の見学	自己、PSW	研修終了時	ディスカッション

【研修評価】

研修中にフィードバックを繰り返し、形成的評価を行う。作成レポートを合格水準に達するまで指導する。

SBOs	領域	目的	方法	測定者	時期
1	知識	形成的	観察記録	指導医	初診外来陪席時
2	知識	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
3	技能	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
4	技能	形成的	観察記録	指導医	回診時
5	技能	形成的	観察記録	指導医	回診時
6	知識	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
7	技能	形成的	観察記録	指導医	ローテ中随時
8	技能、態度	形成的	観察記録	指導医・看護師・ コメディカル	ローテ中随時

協力型臨床研修病院

JA 愛知厚生連 稲沢厚生病院

七宝病院

名古屋市立大学病院